

# ラジオNIKKEI 月曜日16時～

## 『キラメキの発想』 資料

2024年1月22日放送分

番組では個人投資家・トレーダー向けに相場を大きく動かしそうな内部・外部要因について、OPトレーダーの視点から、さまざまなファンダメンタル指標やテクニカル指標などを用いて分析していきます。なお、主宰しているオプション倶楽部の詳細については倶楽部サイト「[optionclub.net](https://optionclub.net)」をご覧ください。「OP売坊戦略」で検索！



OP売坊



# 24年3月限SQ頃までの注目イベント (P.2)

## <米国>

01月25日：GDP速報値

**01月31日：FRB政策金利**

02月02日：雇用統計（1月分）

02月13日：消費者物価指数（1月分）

02月16日：生産者物価指数（1月分）

02月21日：FOMC議事録

03月01日—08日：米暫定予算失効日

03月08日：雇用統計（2月分）

03月11日：BTFPの期限

03月12日：消費者物価指数（2月分）

03月14日：生産者物価指数（2月分）

**03月20日：FRB政策金利**

## <欧州・英国>

01月25日、03月07日：欧州政策金利

02月01日、03月21日：英国政策金利

## <日本>

**01月23日：日銀政策金利**

01月26日：消費者物価指数（東京1月分）

03月05日：消費者物価指数（東京2月分）

**03月19日：日銀政策金利**

※第二金曜日（原則）は日経225OP期近限月の未決済建玉が清算されるSQ日のため、OPトレーダーにとって区切りとなる日です

3月23日にオンラインセミナーを予定しています

3月11日はFRB（米連邦準備理事会）のBTFP（バンク・ターム・ファンディング・プログラム）という銀行融資プログラムの期日です。延長されなければ、米地銀の経営問題が再燃する懸念があります



### 2024年1月

21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

### 2024年2月

				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

### 2024年3月

					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

- 日経225ミニオプションのSQ日
- 日経225ミニ先物・マイクロ先物、月次オプション、ミニオプションのSQ日
- メジャーSQ 日経225先物・ミニ先物・マイクロ先物、月次オプション、ミニオプションのSQ日
- 祝日取引実施日

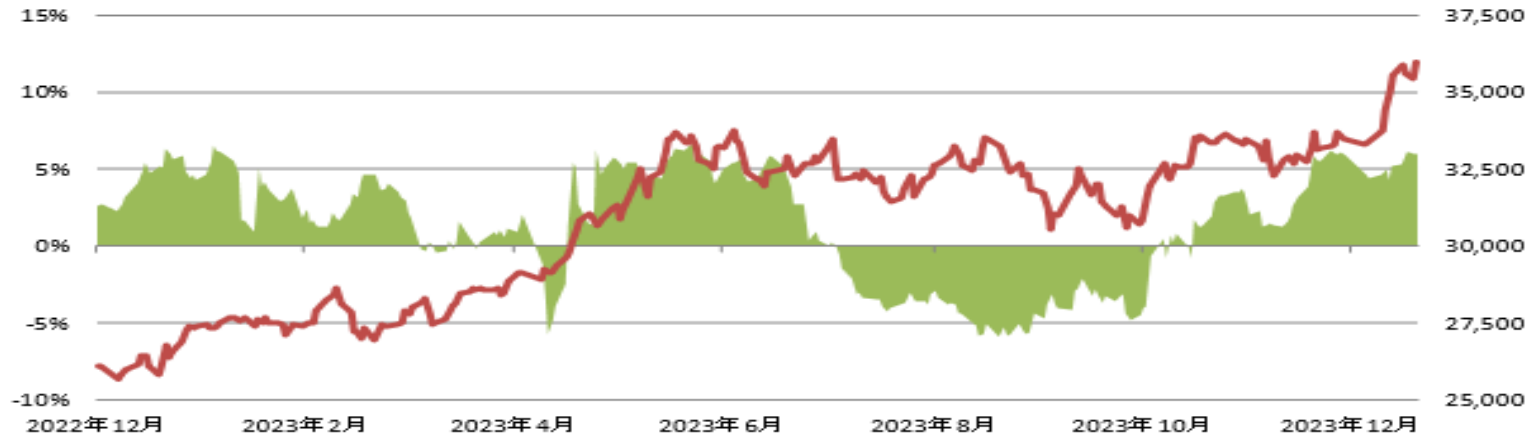
注) 予定は予告なく変更される場合があります。  
出所) ブルームバーグ、ロイターなどから筆者作成

※OP売坊公式X (旧Twitter) @OP49431790でもニュースについてつぶやいています。



# 決算発表に注目 (P.3)

### 日経平均 (右軸) と予想EPS (1株当たり利益) 伸び率 (前年比、左軸)



### 日経平均の予想EPS (行) ×PER (株価収益率、列) マトリクス

2,281.93											
	EPS	13.0	13.5	14.0	14.5	15.0	15.5	16.0	16.5	17.0	
入力欄(下限)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
-8.0%	2100	27,300	28,350	29,400	30,450	31,500	32,550	33,600	34,650	35,700	
-6.9%	2125	27,625	28,688	29,750	30,813	31,875	32,938	34,000	35,063	36,125	
-5.8%	2150	27,950	29,025	30,100	31,175	32,250	33,325	34,400	35,475	36,550	
-4.7%	2175	28,275	29,363	30,450	31,538	32,625	33,713	34,800	35,888	36,975	
-3.6%	2200	28,600	29,700	30,800	31,900	33,000	34,100	35,200	36,300	37,400	
-2.5%	2225	28,925	30,038	31,150	32,263	33,375	34,488	35,600	36,713	37,825	
-1.4%	2250	29,250	30,375	31,500	32,625	33,750	34,875	36,000	37,125	38,250	
-0.3%	2275	29,575	30,713	31,850	32,988	34,125	35,263	36,400	37,538	38,675	
0.8%	2300	29,900	31,050	32,200	33,350	34,500	35,650	36,800	37,950	39,100	
1.9%	2325	30,225	31,388	32,550	33,713	34,875	36,038	37,200	38,363	39,525	
3.0%	2350	30,550	31,725	32,900	34,075	35,250	36,425	37,600	38,775	39,950	
4.1%	2375	30,875	32,063	33,250	34,438	35,625	36,813	38,000	39,188	40,375	
5.2% (上昇率)	2400	31,200	32,400	33,600	34,800	36,000	37,200	38,400	39,600	40,800	

10-12月期決算発表の時期となりました。東京エレクトロン (2月9日)、アドバンテスト (1月31日)、ソフトバンク (2月8日) といった日経平均への寄与度が高い企業には注目しています。日経平均の予想EPS (1株当たり利益≒業績) への影響が大きいです。また、予想EPSは毎日確認しています





# OP売坊の**グレイ・リノ** (P.4)

サイは普段おとなしいが怒ると、とっても怖いのだ

- 🐘 気候変動による食料価格高騰・食料危機
- 🐘 地政学的リスクの複雑化 (ウクライナ・中東・台湾など)
- 🐘 日米欧中の不確実性上昇・債務増・増税懸念
- 🐘 日米欧でスタグフレーション (景気後退+インフレ) 懸念
- 🐘 米中の不動産バブル崩壊懸念と景気失速
- 🐘 米国の議会混乱と大統領選 (世界的な選挙イヤー)
- 🐘 米地銀破綻第2幕
- 🐘 基軸通貨「米ドル」の没落とBRICSの台頭
- 🐘 日本の2024・25・30・40年問題と預金封鎖
- 🐘 自民党の裏金問題と総裁選 (2024年秋)
- 🐘 日銀の金融 (YCC) 政策変更
- 🐘 日本の増税ラッシュ
- 🐘 日本の金融システムなどへの不安
- 🐘 **バフェット指数 (株式時価総額÷名目GDP) の異常値**  
 米国 : 173.9 (1月16日概算) ← 175.7 (12月28日概算)  
 日本 : 155.7 (1月16日概算) ← 154.3 (12月19日概算)



中東情勢が緊迫化してきました。カギを握るのはヒズボラ (レバノン)、フーシ (イエメン)、国民動員部隊 (イラク) といった政治・軍事組織と関係のあるイランでしょう。今年ペルシア湾 (ホルムズ海峡) と紅海の物流に問題が起こり得る可能性が日々高まってきていると考えています

など

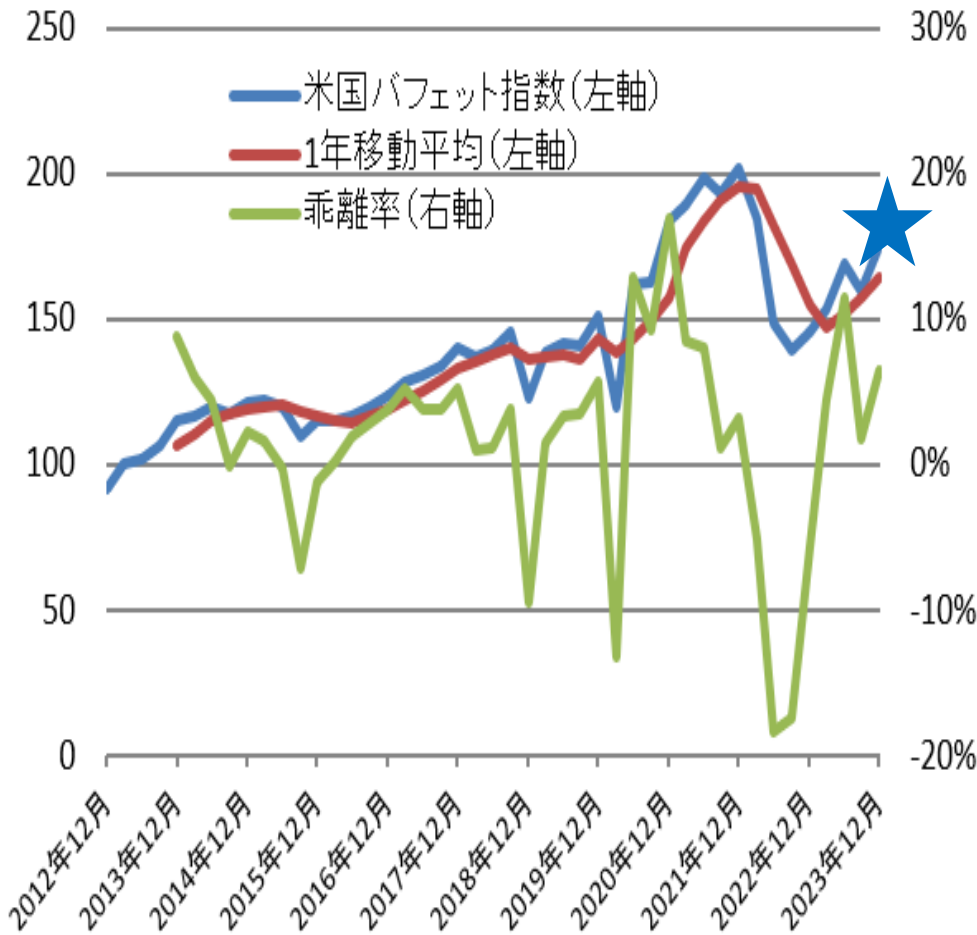
グレイ・リノ (灰色のサイ) とは、高い確率で大きな問題を引き起こすと考えられるにも関わらず、軽視されている事象のこと。それが**起これば大きな値幅が出る**ため、OPトレーダーに重要となる。特に**PUT買い**を仕掛けられる可能性や、破産もあり得る**PUT売り**を避けられる可能性が高くなる。



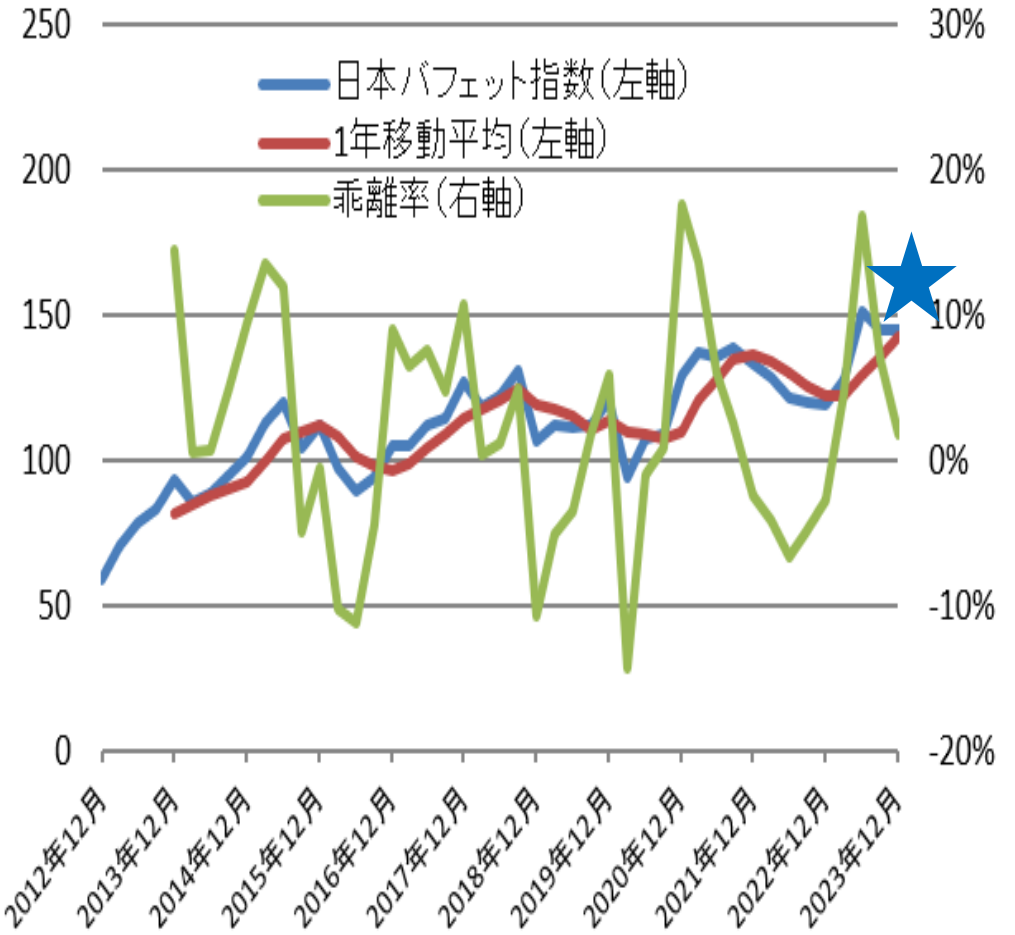


# 日米バフェット指数が示唆する過熱感 (P.5)

## 米国バフェット指数 (1/18概算 : 174.4)



## 日本バフェット指数 (1/18概算 : 153.9)



出所) ブルームバーグなどより筆者作成  
(2023年12月末現在)

星印は直近の概算値です。ここにきて経済規模と株式の時価総額を比較したバフェット指数からみても株式の割高感が高まっています。株式の時価総額が過大評価されているのだと考えています







## 米国株のF&G指数 (P.6)

CNNマネーが配信している**Fear & Greed (F&G=恐怖強欲) 指数**は、VIX (S&P500OPのボラティリティ指数) やOPの建玉状況など以下の7つの要素から算出される感情指標です。

①**株価の勢い (Market Momentum)**

S&P500とその125日移動平均との乖離率

②**オプション (Put and Call Options)**

プット・コール・レシオの5日平均

③**株価の強さ (Stock Price Strength)**

NY証券取引所で52週最高値・最低値を記録した銘柄数の差

④**売買の活況度 (Stock Price Breadth)**

NY証券取引所で上昇・下落した銘柄数の差

⑤**イールド・スプレッド (Safe Haven Demand)**

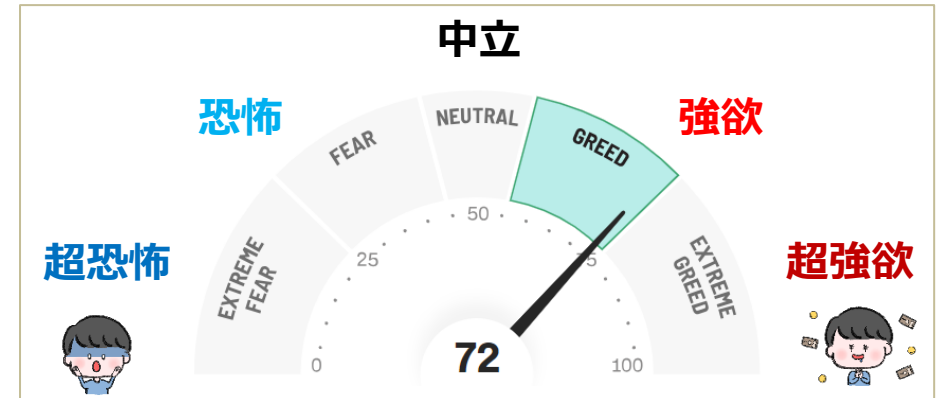
過去20日における債券収益率と株式収益率の比較

⑥**ジャンク債への需要 (Junk Bond Demand)**

投資適格債利回りとジャンク債利回りとのイールド・スプレッド

⑦**ボラティリティ (Market Volatility)**

VIX指数とその50日移動平均



F&G指数は市場心理をみるのに重宝している指数です。S&P500との相関性が、かなり高いことがみてとれます





# 1月19日現在のF&G指数とS&P500 (P.7)



今までF&G指数が75を超えて「超強欲」となると目先天井を示唆しており、逆にF&G指数が25を割って「超恐怖」となると、目先底値を示唆している傾向があったと考えています



出所) ブルームバーグ、CNN 「<https://money.cnn.com/data/fear-and-greed/>」

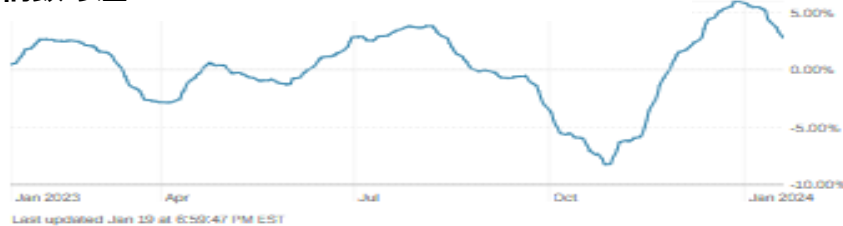


# F&G指数を構成する各指標 (P.8)

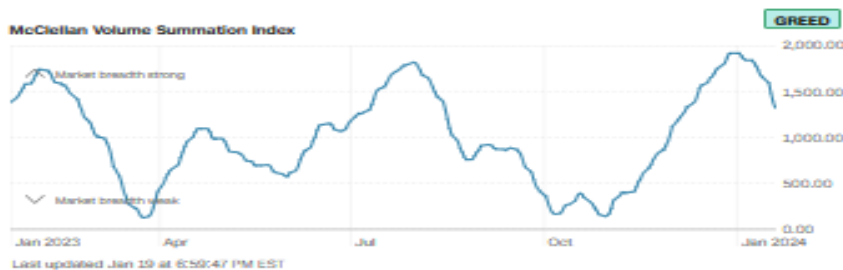
S&P500とその125日移動平均との乖離率 **超強欲**  
EXTREME GREED



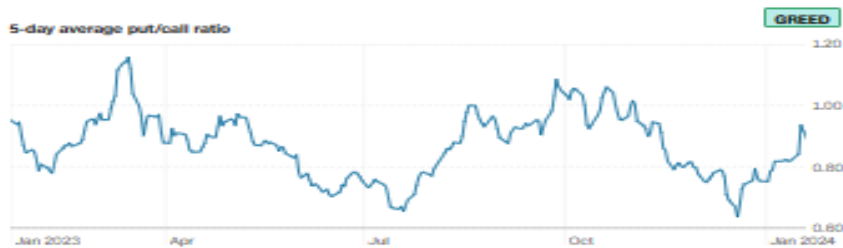
NY証券取引所で52週最高値・最低値を記録した銘柄数の差 **強欲**  
GREED



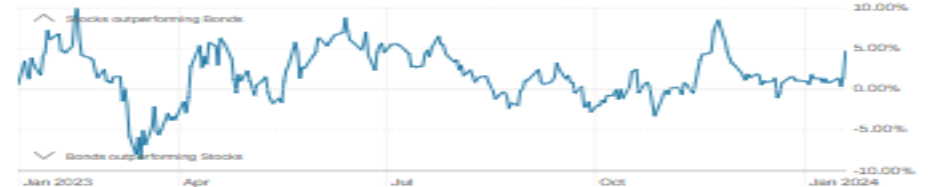
NY証券取引所で上昇・下落した銘柄数の差 **強欲**  
GREED



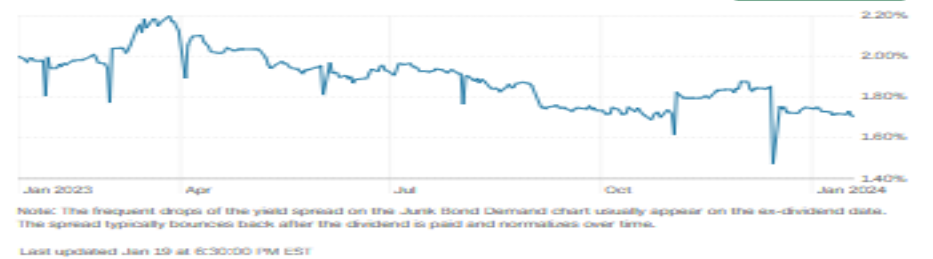
プット・コール・レシオの5日平均 **強欲**  
GREED



過去20日における債券収益率と株式収益率の比較 **超強欲**  
EXTREME GREED



投資適格債利回りとジャンク債利回りとのイールド・スプレッド **超強欲**  
EXTREME GREED



各要素のポイントで何が一番注目されているのかが確認できます。森の状態だけでなく、木の状態もみておくほうが、より相場状況を的確に理解できると考えています

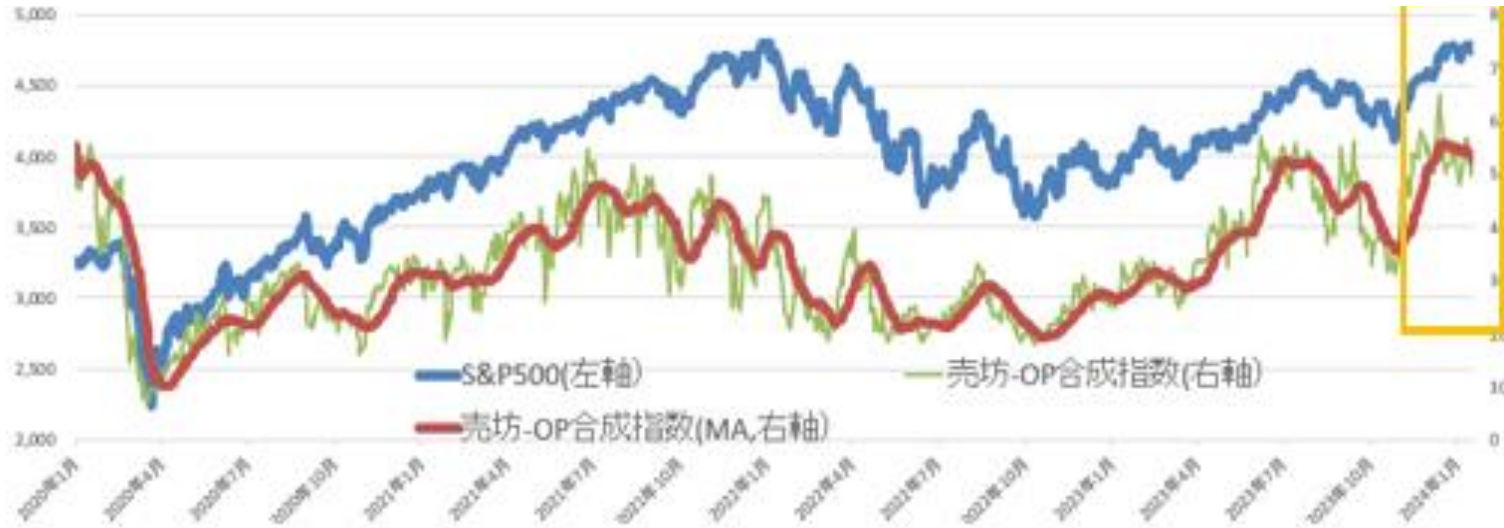






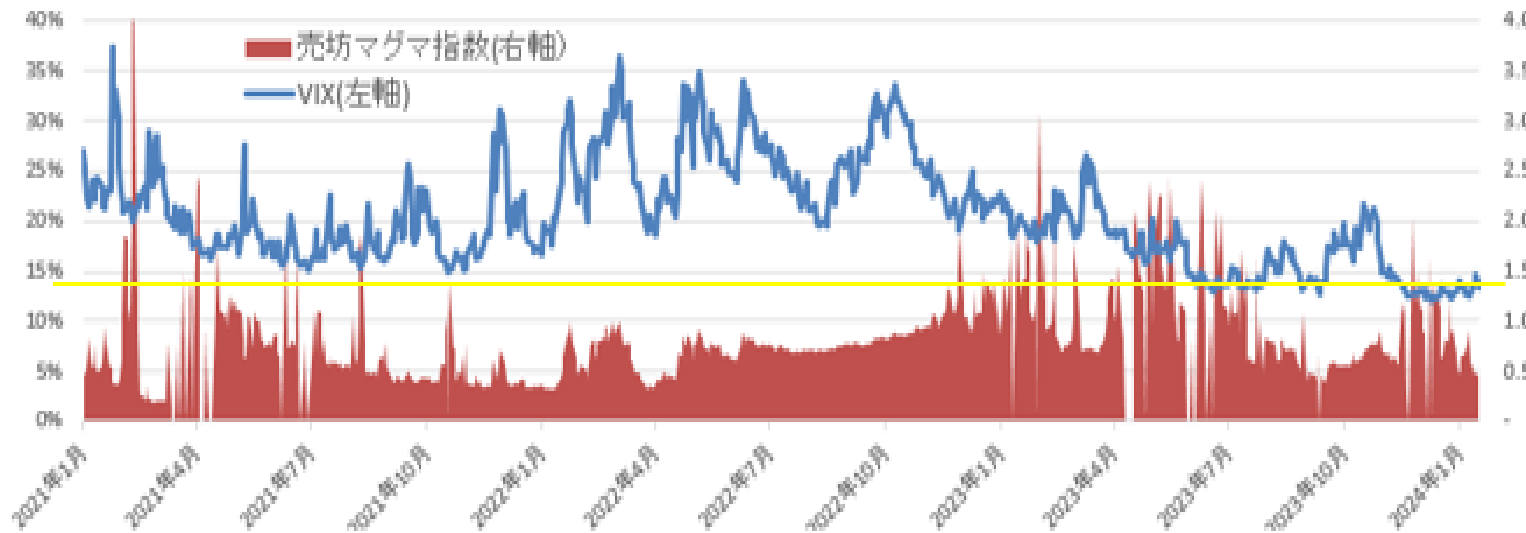
# 米国株の売坊合成指数 (P.9)

## S&P500と売坊-OP合成指数、その移動平均



売坊-OP合成指数はS&P500の方向性をみるため、主にOP市場から得られるデータで独自に作成したものです。投資家の心理状態に注目しています

## VIXと売坊マグマ指数



売坊マグマ指数はボラティリティが上がるタイミングを推測しようとして計算しています。マグマ指数が高い数値を示している場合、VIX急騰の可能性があり、CALLとPUTの買いタイミングをみています





# OPを使った分散運用も (P.10)

日経225

+

商品

農産物・貴金属

FX



ボラ

株式

債券

例えば、ドル高円安が日経平均に追い風になると考えるなら

◎日経225CALL売り

+

◎ドル円PUT売り

で分散運用が考えられます



分散戦略では、両方が大きな損失を被ることがないように組み合わせることになります。単純な一例では、日経225CALL売りにドル円CALL売りを加えるとドル高円安リスクがさらに深まることとなります



# 基軸通貨の存続期間は100年？ (P.11)

## 基軸通貨となった国



ポルトガル  
1450～1530年 (80年間)



スペイン  
1530～1640年 (110年間)



オランダ  
1640～1720年 (80年間)



フランス  
1720～1815年 (95年間)



英国  
1815～1920年 (105年間)



米国  
1920年～ (104+年間)

## 次の基軸通貨は？



基軸通貨が、ほぼ同じ100年で変わっていることには非常に興味があります。もちろん、この100年周期が米国に当てはまるかは分かりません





## OP売坊の無料メルマガ『グレイ・リノ通信』

# 売坊先生のYouTube動画を何倍にも楽しめる

補足Q&A記事やOPトレードに関する情報などを配信しています！



- 日米**“実質”**利回り差とドル円の相関が高いのは、なぜですか？
  - 裁定取引の**“手口”**から、どのようなことがみえてくるのですか？
  - 日本銀行に**“暗黒の水曜日”**が起こり得るのは、なぜですか？
  - 米国が陥っている**“政策金利のジレンマ”**とは、何ですか？
  - 個別株を安く買いたいなら**“PUT売り”**が有効なのは、なぜですか？
- ……など

お気軽にご登録ください！



**登録**はオプション倶楽部のポータルサイト  
<https://www.optionclub.net/>  
でメールアドレスを入力するだけ!!



オプション倶楽部

検索



YouTubeで『オプション倶楽部TV』を配信中！

水曜22時からパンローリングチャンネルで！！



3つの視点で日本株・米国株・為替などの市場を大きく揺るがしそうな材料を分析します



第一週  
政治経済イベント分析



第四週※  
異常値分析



第二週  
グレイ・リノ分析

第五週はトレード・投資に役立つ  
OPワンポイント解説



※祝日や暦などによってラジオ出演と異常値分析が入れ替わる場合があります。

第三週※はラジオNIKKEI月曜16時～

『キラメキの発想』に出演！

<https://www.radionikkei.jp/kirameki/>



ラジオ放送も情報提供の一環と位置づけており、ラジオ出演週の水曜配信は、お休みとさせていただきます。

専用ページ <https://www.panrolling.com/tv/opctv.html#/>



---

**最後までご清聴、誠にありがとうございました。**

**OP売坊ブログ『実践オプション教室』**

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

**OP売坊X（旧ツイッター）『@OP49431790』**

<https://twitter.com/OP49431790>

**Copyright © 2019-2024 OP売坊 / Pan Rolling Inc.**

**All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.**

# 免責事項

---

- オプション倶楽部TV（以下「本動画」）で使用した図表・数値などは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。
- 本動画に掲載された情報・図表・資料は、あくまで金融知識の向上と情報提供を目的としたものです。証券など金融商品の売り買いを提案・勧誘するためのものとして、また証券など金融商品について助言・推奨するものとして、利用・解釈しないでください。
- 本動画は一般向けに編集されています。特定の投資目的・特定の投資環境・特定の投資家を一切考慮していません。事前に専門家の適切な助言を受けるべきですし、最終的な投資判断は、個々人が個々の状況を考慮して、自らの責任で下すようにしてください。
- 本動画に基づく行為の結果、発生した障害・損失などについて講師およびパンローリング社は一切の責任を負いません。
- 本動画に記載されたURLなどは予告なく変更される場合があります。
- 本動画に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。